

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学 学長業績評価 評価書

1 評価

評定	評価
A	良好な業績である

2 総評

本評価対象期間において、学長のリーダーシップの下、中期計画及び年度計画を着実に実施したと認められる。新型コロナウイルス感染症が概ね収束した後、社会が新たな局面を迎える中で、教育、研究、社会貢献、業務運営の各分野で計画に基づいた施策を推進した。評価の詳細を以下に述べる。

(1) 教育面

- ・教育の質保証のため、学修成果の可視化とともに3ポリシーの繋がりとし、一貫性について継続的に点検・評価する体制として内部質保証推進会議を構築し、内部質保証体制の推進に努めた。
- ・入学者選抜における、受験者数の動向を踏まえた試験会場の新設・廃止等の最適化や選抜方法の多様化等の取組により、高い志願倍率を維持し、入学定員を確保している。また、令和5年4月に設置された数理情報科学科と令和6年4月に設置された医薬工学科について、定員を確保した上で学部教育を着実に実行している。
- ・薬剤師国家試験においては全国トップレベルの合格率を達成し、教育の質の高さが示された。
- ・全学部でボランティア活動を単位認定する履修体系を導入する等、学生の社会体験と地域連携に大きな意味を持つ施策を実施していることは評価できる。
- ・大学院工学研究科修士課程の定員超過への施策として、機械工学専攻、電気工学専攻、応用化学専攻の設置を行う等、大学院の教育研究体制の強化を積極的に進めている。

(2) 研究面

- ・外部資金獲得の支援を積極的に行い、その結果、科研費採択率が全国平均を上回る高い水準に向上する等、研究水準の向上に努めている。
- ・オープンアクセス加速化事業に、中国・四国・九州地域の公立大学として唯一採択され、オープンサイエンスの推進が図られた。
- ・産学連携コーディネータを配置し、研究シーズと企業のマッチング支援

を行った結果県内企業等との受託・共同研究を4件実施する等、地域の技術力向上の支援に取り組んだ。

### (3) 社会貢献

- ・地域課題の解決に向けて地域社会との連携や地域貢献にも積極的に取り組み、多様な主体との協働を通じた取り組みが第三者評価においても優れた点として評価されるなど、公立大学としての責務を着実に果たしている。
- ・ほんものの科学体験講座や夏休みジュニア科学教室等の次世代への取組や、学生のボランティア活動の推進、地域課題解決プロジェクト、大学開放授業等、地域社会との連携や地域貢献に資する取組みを多角的に進めていることは高く評価できる。

### (4) 業務運営

- ・全学的なガバナンス体制の強化に向け、学長の下に3名の副学長及び4名の学長補佐を新たに配置し、学長室の機能の充実を図る取組に、学長の積極性を感じる。
- ・外部資金獲得教員に対する教員教育研究費の特別配分の実施や、次年度からの賞与増額制度を計画する等、教員のモチベーションアップと積極性に繋がる新たな施策に取り組んでいる。
- ・女性研究者が活躍できる環境整備として研究補助員制度や研究費支援事業を実施する等、積極的に人材育成を進めた。
- ・一般財団法人大学教育質保証・評価センターによる機関別認証評価を受審し、「大学評価基準を満たしている」との評価を受けているが、「改善・今後の進展が望まれる点」として指摘された事項については、順次対応をお願いしたい

若年人口が減少する中、特に人口減少の著しい地方の大学を取り巻く環境は非常に厳しい。そのような中、地方都市に所在する公立大学としての価値向上を通じた持続的な発展のため、地域貢献の視点をさらに重視しながら大学の執行部と教職員が、目指すべき「SOCUブランドとは何か」を共通に認識して現状の課題を解決するとともに、特色ある教育・研究の推進等による大学改革の一層の推進に期待する。